

# 04

interview

## “ふるさとで再び青春を”



松崎 康さん  
フランス語教室 講師

舞鶴で生まれ育ち、大学でフランス語を学んだあと、楽器メーカーに就職。海外へ転勤し、フランス駐在中に当地で結婚。子どもを授かった後、ヨーロッパを転々としていましたが、高齢になった母が気がかりで、自分自身も元気で動けるうちに人間関係や生活の環境を整えたほうがいいと考え帰国。いつかは帰って来たいという思いもあり、Uターン。帰ってきたからはフランスのクルーズ客船がちょうど舞鶴港に寄港するタイミングだったため、市のみならず振興・国際交流課へ就職が決まり、これまで培った言語や経験が生きました。私生活では中学や高校時代の友達と昔話を花を咲かせたりして、若返った気持ちです。そこから新しい友達の輪も広がり、バンド活動で再び青春を謳歌しています。また昔から少しずつ始めていたサーフィンを楽しんでおり、最近は長く元気に暮らせるようにとウォーキングも始めました。現在では知り合いを集めてフランス語教室を開講して、楽しませてもらっています。

いろんなところを転々とした私は特に思うかもしれませんが、新しい土地に慣れたり、ゼロから人間関係をつくるのは大変で、帰れる「ふるさと」があるというのはありがたいものです。ふるさとだからこそのやりたいことができる、今の生活が一番楽しいと感じています。



息子とサーフィン



母と自然文化園へ



赤れんがパークでのライブ活動



近くの川で川遊び



園児とにらめっこ



園庭で泥遊び



南部 祐希さん  
永福保育園 保育士

# 02

interview

## “離れて分かる 良さもある”

加佐地域の自然の中で育ち、小さいころから夢だった保育士になるため、滋賀県の短大に進学して保育を学び、その近くの保育所に就職。2年働いた後、舞鶴に帰る今の永福保育園に就職しました。

舞鶴は自然がいっぱいで子ども達ものびのびと遊んでいます。自分もそうやって当たり前のよう育ってきたが、バケツや網を持って、魚やカニの観察に行ける川があることはとても恵まれた環境です。永福保育園に務めて7年になり、現在は城屋園舎(分園)にいます。少人数でアットホームな環境がとても気に入っています。少人数だからこそ1人にかける時間が増え、子ども達に寄り添ってできることが多くなっています。また、保護

者との関わりでは信頼関係を築くことを大切にしている、安心して子どもを預けてもらえるように普段から子どもの様子もしっかりと伝えることを心掛けています。市の全ての保育園でも力を入れています。保育の可視化など保育の質を高められるよう、またその期待に応えられるようにしたいです。

実家暮らしなので、大変なことも助けってもらっていることが多いです。帰ってきた理由としては、家族や友達の存在が大きく、離れていた時間があるからこそ何気ない会話も大切に思えるようになりました。一度離れて改めて気が付いた舞鶴の良さを、これからも大切に感じて暮らしたいと思っています。



前田 彩子さん  
カフェ「Laboratoire (ラボラトワール)」オーナー

# 03

interview

## “マイペースを 選択”

で、東舞鶴の大門通りにラボラトワールをオープン。半年後に結婚し出産も経験。子育てと両立しながら経営しています。昼はカフェ、夜はバーとして営業しており、これまでの経験を生かして、コーヒーはもちろん、お菓子やお酒にも力を入れています。子育ては夫の協力が大きく、両親にも手伝ってもらい奮闘中です。集客面ではお客さんたちが口伝えに宣伝してくれ地元つながりを感じます。

お店の名前である「ラボラトワール」はフランス語で「調理室」や「研究室」という意味。このカフェから何かが生まれたり、広がったりすればいいなと思っています。また、自分が子育ての大変さが分かっている、ので、子連れでも来やすいようにもしたいですね。老若男女問わずとなく、こだわりのコーヒーをいれてお待ちしております。

西舞鶴高校を卒業して、大阪の専門学校でお菓子のことを学びフランスへ留学。現地で修業し、帰国後は東京のケーキ屋へ就職。お酒のことも学びたいと思い、バーやビストロでも働きました。その後、少しゆとりがほしいという思いから28歳で舞鶴へ帰郷。地元で働く中で次第にカフェを開きたいと思うようになり、舞鶴と東京どちらにするか迷いました。そのとき、これからの人生をイメージし、今の自分には生活のこともお店のこともマイペースに進められ、やりたいことができる舞鶴の方が合っていると決断しました。そう決めた後は東京で1年間コーヒーの勉強をし